

平成29年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月10日

上場会社名 株式会社 オーネックス
 コード番号 5987 URL <http://www.onex.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 大屋 和雄
 (氏名) 鶴田 猛士

TEL 046-285-3664

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年6月期第1四半期の連結業績(平成28年7月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第1四半期	1,317	4.5	51	△48.2	52	△48.2	16	△75.7
28年6月期第1四半期	1,259	△2.4	98	21.3	101	17.8	68	22.1

(注) 包括利益 29年6月期第1四半期 32百万円 (△29.4%) 28年6月期第1四半期 45百万円 (△37.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年6月期第1四半期	1.00	—
28年6月期第1四半期	4.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年6月期第1四半期	10,041	5,156	51.4	311.31
28年6月期	9,152	5,157	56.3	311.37

(参考) 自己資本 29年6月期第1四半期 5,156百万円 28年6月期 5,157百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年6月期	—	0.00	—	2.00	2.00
29年6月期	—	—	—	—	—
29年6月期(予想)	—	0.00	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年6月期の連結業績予想(平成28年7月1日～平成29年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,706	8.0	5	△96.4	6	△95.9	△43	—	△1.93
通期	5,390	4.7	20	—	30	—	△60	—	△3.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年6月期1Q	16,600,000 株	28年6月期	16,600,000 株
② 期末自己株式数	29年6月期1Q	37,003 株	28年6月期	37,003 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年6月期1Q	16,562,997 株	28年6月期1Q	16,563,897 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善や、雇用環境の改善が続く中で緩やかな回復基調が続きました。一方で原油価格の低下によるエネルギーコスト低下は企業収益のプラス要因ですが、円高・株安の進行による企業収益下振れの懸念や輸出が弱含みで推移しており、海外では中国を始めとするアジア新興国等の景気減速や英国のEU離脱問題の影響及び世界的な政情の緊迫化等による先行き不透明感が根強く残っています。

このような経済状況の下で、当社グループは、生産性の向上に取組み原価低減を図り収益性向上に努めました。主力取引業界である自動車、建設機械、産業工作機械の中で、建設機械は引き続き低調に推移したものの、自動車部品関連受注、産業工作機械関連受注が堅調に推移したため、売上は前年同四半期連結累計期間と比較して増収となりました。また、ガス・電力費等の製造コストが低下し、経費の削減に努めたものの、平成27年12月より稼働を始めた(株)オーネックステックセンターにおいては、工場消耗品や減価償却費等の経費負担が大きく営業赤字を計上したため、前年同四半期連結累計期間と比較して減益となりました。

こうした事業活動の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,317百万円（前年同四半期比4.5%増）、営業利益は51百万円（前年同四半期比48.2%減）、経常利益は52百万円（前年同四半期比48.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は16百万円（同75.7%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①金属熱処理加工事業

金属熱処理業界においては、主力取引業界である自動車関連需要及び産業工作機械の受注は堅調に推移し売上は増加したものの、建設機械は世界経済の減速等により減少しました。

一方でガス、電気料金が低下し、生産性の向上及び人件費、諸経費削減に取り組み全力で収益の確保に努めましたが、近畿、東海、北陸を事業拠点とする目的で設立、操業開始した子会社(株)オーネックステックセンターが営業赤字を計上しているため、売上高は増加したものの、セグメント利益は減収となりました。

これらの結果、売上高は1,176百万円（前年同四半期比4.7%増）、セグメント利益は32百万円（前年同四半期比60.9%減）となりました。

②運送事業

運送事業につきましては、平成28年3月に三重営業所を開設したこと及び機械などの重量物の搬送取り扱いが安定していたため、売上は堅調推移しました。また、軽油価格の低下、備車（外注）便を活用すると共に、運行管理の徹底、配車の効率化及びエコドライブによる燃費の削減などに努めました。

これらの結果、売上高は141百万円（前年同四半期比2.8%増）、セグメント利益は11百万円（前年同四半期比15.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

資産合計は、前連結会計年度末と比較して888百万円増加し、10,041百万円となりました。これは主に現金及び預金が974百万円増加したことなどによるものです。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末と比較して889百万円増加し、4,884百万円となりました。これは主に長期借入金が844百万円増加したことなどによるものです。

(純資産)

純資産合計は、当第1四半期連結会計期間末は5,156百万円（前連結会計年度末は5,157百万円）となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が15百万円増加したものの利益剰余金が16百万円減少したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年6月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成28年8月10日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,354,423	2,328,486
受取手形及び売掛金	1,354,674	1,253,350
電子記録債権	410,516	457,865
製品	10,580	13,214
仕掛品	38,842	24,096
原材料及び貯蔵品	80,341	79,304
繰延税金資産	14,508	30,645
その他	234,027	105,180
流動資産合計	3,497,915	4,292,144
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,387,092	1,375,309
機械装置及び運搬具(純額)	1,083,748	1,093,839
土地	2,275,851	2,275,851
リース資産(純額)	141,993	136,796
建設仮勘定	11,678	—
その他(純額)	149,874	251,927
有形固定資産合計	5,050,237	5,133,724
無形固定資産	66,053	56,974
投資その他の資産		
投資有価証券	201,057	226,024
繰延税金資産	210,333	205,484
その他	119,659	119,822
投資その他の資産合計	531,050	551,331
固定資産合計	5,647,340	5,742,030
繰延資産	7,301	6,870
資産合計	9,152,557	10,041,044

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	157,985	170,240
電子記録債務	190,308	172,694
短期借入金	448,567	580,536
1年内償還予定の社債	65,000	55,000
未払金	181,647	132,674
未払費用	245,748	234,376
未払法人税等	76,513	65,794
賞与引当金	19,621	75,414
その他	250,782	212,040
流動負債合計	1,636,175	1,698,770
固定負債		
社債	102,500	75,000
長期借入金	1,373,438	2,218,037
退職給付に係る負債	721,403	735,449
その他	161,895	157,524
固定負債合計	2,359,236	3,186,010
負債合計	3,995,411	4,884,781
純資産の部		
株主資本		
資本金	878,363	878,363
資本剰余金	713,431	713,431
利益剰余金	3,537,067	3,520,443
自己株式	△5,453	△5,453
株主資本合計	5,123,408	5,106,784
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33,737	49,478
その他の包括利益累計額合計	33,737	49,478
純資産合計	5,157,145	5,156,263
負債純資産合計	9,152,557	10,041,044

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年9月30日)
売上高	1,259,935	1,317,047
売上原価	887,634	1,003,811
売上総利益	372,300	313,236
販売費及び一般管理費	273,372	261,995
営業利益	98,927	51,241
営業外収益		
受取利息	955	723
受取配当金	656	933
受取賃貸料	1,975	1,634
スクラップ収入	2,226	1,043
その他	2,580	3,430
営業外収益合計	8,395	7,766
営業外費用		
支払利息	4,376	4,826
支払手数料	1,198	1,075
その他	48	431
営業外費用合計	5,623	6,333
経常利益	101,699	52,674
特別利益		
固定資産売却益	4,327	3,599
特別利益合計	4,327	3,599
特別損失		
固定資産除却損	573	52
特別損失合計	573	52
税金等調整前四半期純利益	105,453	56,221
法人税、住民税及び事業税	52,013	58,873
法人税等調整額	△14,677	△19,194
法人税等合計	37,336	39,679
四半期純利益	68,117	16,542
親会社株主に帰属する四半期純利益	68,117	16,542

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	68,117	16,542
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△22,390	15,741
その他の包括利益合計	△22,390	15,741
四半期包括利益	45,726	32,283
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	45,726	32,283
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	金属熱処理 加工事業	運送事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,122,695	137,239	1,259,935	—	1,259,935
セグメント間の内部売上高又は振 替高	—	63,182	63,182	△63,182	—
計	1,122,695	200,422	1,323,118	△63,182	1,259,935
セグメント利益	82,076	9,554	91,631	7,296	98,927

(注) 1. セグメント利益の調整額7,296千円はセグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年7月1日 至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	金属熱処理 加工事業	運送事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,176,023	141,024	1,317,047	—	1,317,047
セグメント間の内部売上高又は振 替高	—	69,868	69,868	△69,868	—
計	1,176,023	210,893	1,386,916	△69,868	1,317,047
セグメント利益	32,114	11,022	43,136	8,104	51,241

(注) 1. セグメント利益の調整額8,104千円はセグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。